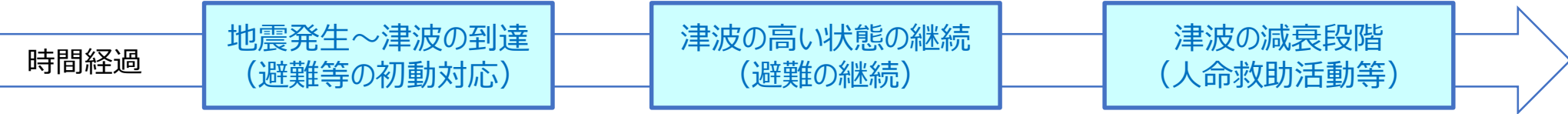


本検討会の開催趣旨とスケジュール

- 津波に関する情報の検討や普及啓発は、これまで地震発生直後の津波からの避難等の防災対応に重点を置いて行ってきた。
- 一方、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震をはじめとする大規模地震に起因する津波は、減衰までの時間が長時間となるため、その間の防災対応も長く続くことが想定されるが、津波の減衰も含めた津波現象全体を通じた情報提供のあり方については、具体の検討が進んでいなかった。また、事前の普及啓発においても、津波の全体像や減衰時の特徴について取り上げる機会が少なかった。



津波の予測技術面での検討	東北地方太平洋沖地震後の勉強会・検討会や、津波予測技術に関する勉強会で検討	津波予測技術に関する勉強会で検討
情報の伝え方の検討状況	- 東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報改善に向けた勉強会 - 津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する検討会などで検討。改善を実施。	～ 今回の検討範囲 ～ これまでの検討会等で - 津波の実況・推移をわかりやすく伝え、津波来襲中での避難の徹底、津波の解除に向けた準備的な情報を提供（※1） - 時々刻々と変化する現象を的確に把握・評価し、実況や経過、見通し等について、分かりやすくきめ細かに提供（※2） すべきとの指摘をされてきたものの、具体の検討が進められていなかった。

※1 東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報の改善（2012年3月）
※2 2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方（提言）（2018年8月）

南海トラフ地震

令和5年3月 「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」の設置

令和5年4月～ 同ワーキンググループにおいて「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の見直しに向けた防災対策の進捗状況の確認や新たな防災対策の検討。

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震

令和4年9月 ・「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域」及び「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波避難対策特別強化地域」の指定
・「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進基本計画」策定

令和5年5月 「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における具体的な応急対策活動に関する計画」策定

応急対策対処方針

令和5年5月 首都直下地震、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震をはじめとする大規模地震・津波発生時の各機関がとるべき行動内容等について定める「大規模地震・津波災害応急対策対処方針」の改定



昨今、大規模地震への対策が進められてきている

- これらを背景に、大規模地震時の長時間継続する津波を念頭に、避難の継続や人命救助活動等の防災対応に資する観点から、現在の津波に関する情報の枠組みを前提に、津波の推移に応じた効果的な情報提供のあり方や、普及啓発で取り上げるべき内容について議論を行うため、学識者、地方公共団体、報道関係者等による「長時間継続する津波に関する情報提供のあり方検討会」を開催する。



津波の予測技術面での検討	東北地方太平洋沖地震後の勉強会・検討会や、津波予測技術に関する勉強会で検討	津波予測技術に関する勉強会で検討
情報の伝え方の検討状況	- 東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報改善に向けた勉強会 - 津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する検討会などで検討。改善を実施。	～ 今回の検討範囲 ～ これまでの検討会等で ● 津波の実況・推移をわかりやすく伝え、津波来襲中での避難の徹底、津波の解除に向けた準備的な情報を提供（※1） ● 時々刻々と変化する現象を的確に把握・評価し、実況や経過、見通し等について、分かりやすくきめ細かに提供（※2） すべきとの指摘をされてきたものの、具体の検討が進められていなかった。

※1 東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報の改善（2012年3月）

※2 2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方（提言）（2018年8月）

第1回（12月25日）

- 津波に関する情報のこれまでの改善状況
- 長時間継続する津波の特徴と津波発生時の情報発表及び各機関の災害対応
- 本検討会における検討課題と論点

第2回（2月20日）

- 長時間継続する津波の時間的推移に応じた情報提供のあり方
- 普及啓発で取り上げるべき長時間継続する津波の特徴や留意事項

第3回（3月21日）

- 第2回の議論を踏まえた検討
- 報告書（案）の検討